

平成24年度第1回理事会

日時 平成24年4月14日(土)15:00～18:00
4月15日(日)9:00～12:00

会場 ホテルアウィーナ大坂
(大阪市天王寺区石ヶ辻町19-12)

次 第

- 1 司会進行 堤谷 孝章
- 2 参加者 高松 彰・丸岡 禎・井上 正継・坂井田米治・早川 誠司
今井喜代治・折本 裕樹・大野 直志・中梶 秀則・中村 雅章
河田 拓也・月成 憲一・林 泰弘・堤谷 孝章
以上14名
- 3 部長挨拶 丸岡 禎
- 4 議長選出 規程により、部長が議長を務める。
- 5 議事録署名人指名 河田 拓也
- 6 議題
 - (1)新役員について (理事長)
別紙参照 理事長の報告通り承認
 - (2)平成23年度全国高体連自転車競技専門部収支決算報告 (事務局)
別紙参照 事務局の報告通り承認
 - (3)平成24年度全国高体連自転車競技専門部事業計画 (事務局)
別紙参照 事務局の報告通り承認
 - (4)平成24年度全国高体連自転車競技専門部収支予算案 (事務局)
別紙参照 事務局の報告通り承認
 - (5)平成23年度全国高等学校選抜自転車競技大会について
(理事長・総務部会・技術審判部会)
○理事長より
 - ・23年度大会の反省から今年度の大会を検討する
 - ・ユーストリームのアクセス数は1万件を超え多かった。
 - ・高校新記録については、全国高体連専門部として認定する。

次回からプログラムに男子ジュニア→高校記録→大会記録の順で表記する。

理事長の報告通り承認

○総務部会長より

- ・入念にかつ時間をかけて作成したタイムスケジュールにより、過密な日程の割にスムーズな運営であった。23年度の大会報告を踏まえ今年度の大会を検討する。
- ・落車で怪我をした選手の保険適用が多かったが、順調に保険手続きが進行している。
- ・総合表彰式に参加できなかった入賞校が3校あった。始末書提出を求めている。

総務部会長の報告通り承認

○技術審判部会長より

- ・少ない競技役員であったがスムーズに運営できた。
- ・失格、警告、注意が多かった。
- ・女子2kmIPの1位と最下位の差が1分10秒であった。

技術審判部会長の報告通り承認

○選抜大会担当（月成理事）より

- ・北九州市からは24年度も行いたいとの連絡を受けている。

選抜大会担当の報告通り承認

○理事長より（中田常任理事からの要望）

- ・一人でロードレースを準備するには労力が大きすぎる
- ・地元の経済効果のことを考えると開会式およびロードを山鹿で実施したい。

理事長の報告通り承認

(6)平成24年度全国高等学校総合体育大会自転車競技について

(理事長・総務部会・技術審判部会)

○理事長より

- ・女子公開競技の扱いについて

4月20日の総体中央委員会で検討する予定である。

今年度は過渡期であるため新潟インターハイで行うが要項には記載しない。JKAより補助金が交付される予定。

参加選手を選抜大会の結果から14名選考する。

表彰は専門部長名で行う。

賞状、メダルの経費は専門部で負担する。

理事長の報告通り承認

○総務部会長より

- ・ブロック予選と海外派遣が重なった選手の扱いについては、全体 500 名の出場枠の中で、インターハイの出場を認める。
- ・将来的には女子公式種目が 500 名枠の中に入る

総務部会長の報告通り承認

○技術審判部会長より

2012ルールブックの改正点について確認した。

- ・ギヤ比 7.93 で実施
- ・ボトルおよびボトルゲージの形状
- ・計時の方法
- ・SP の 1 / 4 の対戦数について
- ・TP は 4 人出走が義務づけられた。

昨年度までは、県予選会、ブロック大会および、インターハイにおいて 3 人出走が認められたが、今年度からはルール改正に伴いこれを認めない。ただし、ブロック大会においてインターハイ出場権を獲得した以降、アクシデントによって 4 名での出走ができないチームは、総務委員長に申請し許可を得ること。

- ・4 速先頭責任の扱いについて

以上の改正点については後日、技術審判部会長より周知する。

- ・サドルの傾きについての規程は、来年度ルールブックに記載される。

技術審判部会長の報告通り承認

(7)平成 24 年度全国高等学校選抜自転車競技大会について

(理事長・総務部会・技術審判部会)

○理事長より

- ・北九州、山鹿に分かれて開催するために弊害がある。現在は北九州市が中心となっていて行っているが、来年度は専門部が主体（実行委員会、会計処理関係）となって実施する。

具体的には、トラックは月成理事、ロードは中田常任理事が行政との連絡調整を担当する。

- ・25 年度選抜大会からは、JCF と同様に開催地の公募を実施したいが、3 月下旬という期間限定とトラックとロードの同時開催では、立候補が期待できない。
- ・24 年度予算は JKA および北九州市、山鹿市からの補助金で準備している。

- ・警察等関係機関への申請は、1 年前でなければならないので来年度のロードレースの日程を、3 月 24 日（日）（予定）とする。

競技運営面からすればロード、トラックの順で実施する方がよい。

メディアドームのケイリン開催日程も考慮し下記のとおり申請する。

第 1 案

- 23 日（土）開会式
- 24 日（日）ロード
- 25 日（月）トラック 1 日目

26日(火)トラック2日目
27日(水)トラック3日目・閉会式

第2案

21日(木)開会式・トラック1日目(20日開会式も考慮)
22日(金)トラック2日目
23日(土)トラック3日目
24日(日)ロード

- ・5月の実行委員会で提案する。

理事長の報告通り承認

○総務部会長より

- ・経費補助対象外を指摘された総合1位～3位のトロフィーを廃止する。
- ・実施要項の一部改正について

総務部会長の報告通り承認

○技術審判部会長より

- ・競技役員がトラック67名(高校関係31名、高校以外36名)でぎりぎりの人数であった。
- 全国的なバランスを考えると、各県より1名ずつ役員選出していくことも継続的に検討する必要あり。

技術審判部会長の報告通り承認

(8)登録選手対象の保険加入について (理事長・総務部会)

○総務部会長より

- ・各都道府県専門部委員長に、それぞれの高校で加入している保証内容の確認と不備な場合の保険加入を依頼する。
- ・今後も加盟校選手対象の傷害、賠償保険商品を研究し提案していく。

総務部会長の報告通り継続審議とする

(9)各専門部会より (総務・技術審判・強化育成)

○総務部会長より

- ・全国トラック合宿、ブロック合宿要項を作成していく。
- ・加盟校登録データについて 別紙参照

総務部会長の報告通り承認

○技術審判部会長より

- ・アンケート結果(回収率8割を超えた) 別紙参照
顧問:安全指導、練習環境、部員確保が課題である。
何らかの機材規制の必要有りの意見が多い。
選手:約3割が高校以前に自転車競技を開始
約9割は部活動に満足。
トラックレーサーは7割が部や連盟所有

- ・理事会議事録とともにHPに掲載する。

技術審判部会長の報告通り承認

○河田理事（技術審判担当）より 別紙参照

インターハイ開催基準要項の作成について

- ・現状は大会競技運営上配慮すべき要項が作成されていない。
- ・ブロック開催になりトラック・ロードが県をまたがった開催になる。
- ・**H28IH中国ブロック開催：トラック会場は倉吉、ロード会場は三原会場がかなり離れている。そこで下記の基本条件を提案する。**
 - ①同一県で開催（選手に負担がない）。
 - ②県が異なる場合、1日の移動日を設ける（移動で負担がかかる）
 - ③県が異なる場合監督会議および役員打ち合わせをそれぞれ行う。
- ・女子公開競の影響で、日程の配慮も必要になる。
- ・行政はロードレースの開催に関しては、「警察の許可が出る」「大会経費が少なくすむ」ならば県外開催はOK
- ・競技規則187ページ開催基準を参考に検討していく
- ・検討委員会で今後要項を作成し運用していく
- ・**総体中央委員会で検討事項としてあげる（H28IH中国ブロック開催）
要望書と理由書を作成（河田担当）し申請する**

河田理事の報告通り承認

○強化育成部会より 別紙参照

- ・山本宏恒氏（作新学院）を関東ブロック強化育成部会員に推薦し任命する。
- ・全国トラック合宿
日程 平成24年12月22日（土）～26日（水）4泊5日
会場 伊豆ベロドローム
選考方法 1、2年全国大会上位入賞者
（20名程度、JCF指定選手以外）
- ・2012年日韓学生対抗自転車競技選手権大会（学連共催事業）
日程 平成24年11月上旬
会場 未定
種目 【男子高校生】5名（開催種目は予定です）
SP(2) KM(2) 3kmIP(2) TS(3) KE(1) PR(5)
種目 【女子】5名（大学生3名、高校生2名）
SP(2) 500TT(2) 2kmIP(2) TS(2) KE(1) PR(5)
選考方法 全国高校総体優勝チームと、個人種目優勝者の中から5名を選考してチームを編成する。
- ・第4回全日本ステージレース in いわて
日程 平成24年8月30日（木）～9月2日（日）

会場 岩手県八幡平市（安比高原、岩手山パノラマライン）

インカレと重なっているので、女子選抜チームをできれば2チーム出したい。

強化育成部会長の報告通り承認

(10) J C F 関係

(理事長)

○理事長より

- ・ J K A 公益補助金について 別紙参照
2 2 年度の J K A 監査がようやく終わった。
指摘された事項については、2 4 年度以降改善していく。
- ・ J O C は 8 月に実施
- ・ オリンピック選考 来週トラック選手選考
再来週ロード選手選考

理事長の報告通り承認

○中村常任理事より

- ・ ルールブックの【 J 】は日本国内ルールである。（例 23 ページ）
- ・ 2 4 年度は技術審判部会への所属に変更願いたい（ J C F 関係より）
- ・ 落車事故を防ぐため国体ケイリン種目を 6 人制で実施することについては、競技運営面で課題も多い（競技時間、表彰関係等）
- ・ 年齢別カテゴリー変更が来年度より実施

中村常任理事の提案・報告通り承認

(11) その他

- ・ 仮称「インターハイ検討委員会」のメンバーを総務部会から 3 名その他の部会から 2 名推薦し、本人の承諾を確認次第決定する。

委員長は今井総務部会長と決定した。

○今井 川上 中梶

折本 河田

大野 林

第 1 回インターハイ検討委員会 5 月中旬頃実施予定

7 報告事項 (1)各専門部会及び事務局より 他

- ・ 2 4 年度賛助会員の募集について

(2)意見交換会（各ブロックの検討事項や問題点等）